

理事からのメッセージ

TTC創立40周年を迎えて

理事

木下 真吾(日本電信電話株式会社 執行役員 研究企画部門長)



TTC が 1985 年の発足から今年で 40 周年を迎えられ、誠におめでとうございます。通信事業の自由化を契機に TTC が発足しましたので、NTT の民営化も今年で 40 年となります。NTT は、TTC 発足当初から理事会社として支援させて頂き、数々の国内標準の策定や国内技術の国際標準化に向けたアップストリーム活動などの成果に向け活動進めさせて頂きました。NTT グループ企業の事業の発展にも TTC 標準が大きく寄与したことは言うに及びません。

通信を取り巻く環境は、この 40 年間で極めて大きく変化しました。NTT が提供するサービスも、狭義の通信インフラを超え、社会インフラ、さらには地球規模のインフラへと変化しています。この変化に対応するために、NTT は、2019 年に IOWN 構想を発表しました。その後、研究・開発・実用化と進め、2023 年には、初の商用サービスとなる IOWN 1.0

を開始しました。今後は、光電融合デバイスの実用化や、通信および計算機環境への適用と、それらを最大限活用するデジタルツインコンピューティングや次世代汎用 AI などに取り組み、IOWN 構想を世の中に実装を進めています。

IOWN 構想の実装を世界に広めていくためには、国際標準化の取り組みが極めて重要となります。TTC では、前述の重要技術群の ITU-T へのアップストリームを統合的な視点で円滑に進めるための専門委員会（IOWN-GF 専門委員会 2024 年発足）を中心に実際のアップストリーム活動を進める、非常に重要な役割を果たして頂いています。

日本を代表する標準化機関として、また、国際機関との連携窓口として、今後の TTC の更なる発展を期待しております。